

第2回

男女別学教育シンポジウム

テーマ

男女別学が日本を拓く^{ひら}

私たちは、児童・生徒個々人の価値を尊重しつつ、その能力を十分に伸ばしたいと教育活動を行っています。この視点に立てば、男女の思考の違いや発達過程の違いを理解した上での教育が、より良い成果を生むと考えるのは当然のことです。

この会は「男女別学教育こそが、日本の明るい未来を拓く教育である」というメッセージを発信するシンポジウムです。今回は、教科指導に焦点を当てて、2校の先生方4名にご登壇頂き、指導上の違いを中心に具体的な話を伺おうとの企画です。皆様、どうぞ奮ってご参加ください。

日時

2011年 **11月19日(土)** 午後3時開場 3時30分開会 5時50分閉会

会場

九段センタービル
LB2F(地下一階) CD会議室
(東京都千代田区九段北4-1-7)



プログラム

- 3時30分 **開会のご挨拶**
中井俊巳(日本男女別学教育研究会代表)
- 3時40分 **基調講演 「性差に対応した数学の指導」**
石田浩一先生(Z会東大マスターコース数学科講師)
- <講師紹介> 元開成中学・高等学校教諭。現在Z会東大マスターコース数学科講師等て活動。Z会東大マスターコースでは中学分野のテキスト執筆を担当。論理的思考力を測定する法科大学院入試の適性試験・小論文の指導等も行なう。
- 4時40分 **パネルディスカッション 「男女の差異を意識した教科指導」**
石田浩一先生(Z会東大マスターコース数学科講師)
岩本秀典先生(桐光学園中学校高等学校教諭 数学科)
澤登佳美先生(桐光学園中学校高等学校教諭 英語科)
今井寛人先生(國學院久我山中学高等学校教頭 数学科)
和中正太先生(國學院久我山中学高等学校女子部長 地歴科)
コーディネーター 實吉幹夫先生(東京女子学園中学校高等学校校長)
- 5時40分 **質疑応答**
閉会のご挨拶
清水哲雄

参加者

学校関係者・塾関係者・マスコミ関係・研究者・一般の方(100名まで)

お申込み方法

下記主催者のHPのお申込みフォームよりお願いします。
参加費は無料です。(10月19日より受付開始、先着順100名締め切り)

◆主催(お問い合わせ)◆

日本男女別学教育研究会 <http://www.sse-j.org> (中井俊巳)
E-mail: toshiminakai@gmail.com